

取組項目 No.10 こころのケアの推進

〔取組概要〕

- 被災者の精神的負担を軽減するため、「岩手県こころのケアセンター」及び沿岸4箇所に「地域こころのケアセンター」を設置し、被災者一人ひとりに寄り添ったこころのケア対策を推進しています。
- 多くの子どもたちが震災により「喪失」を体験したり、大きなストレスを抱えながら生活しています。岩手県では、いわてこどもケアセンターを拠点として、保健・医療・福祉・教育機関が連携した子どもの心のケアを進めています。

取組事例① こころのケアセンターの設置について

「こころのケア」を中長期的に継続して取り組むため、平成24年2月に盛岡市に「岩手県こころのケアセンター」を設置するとともに、同年3月には沿岸4箇所（久慈市、宮古市、釜石市、大船渡市）に「地域こころのケアセンター」を設置し、こころのケア対策を推進しています。

「地域こころのケアセンター」では、「震災こころの相談室」（沿岸7市町）の運営や、市町村と連携した訪問活動のほか、全戸訪問や健診事業、健康教育など地域の保健活動への支援、ゲートキーパー養成研修など地域の人材養成等を展開しています。



岩手県こころのケアセンターの開設



ゲートキーパー養成講座

岩手県こころのケアセンターホームページ

<http://www.i-mcc.jp/>

取組事例② いわてこどもケアセンターの設置について

岩手県では、平成23年6月以降、「子どもの心のケアセンター」を宮古市、釜石市、大船渡市に開設しました。そこで、子どもや家族、保育士や教員への相談支援を実施してきました。

平成25年5月には、これらの事業を中長期的に実施していくため、クウェート国・日本赤十字社から援助を受け、「いわてこどもケアセンター」を開設しました。



多職種症例検討会



多職種ケアチーム

「いわてこどもケアセンター」は、岩手医科大学に事業を委託。児童精神科クリニックと被災地域への巡回による子どもの心の診療を実施し、児童精神科医や臨床心理士等の専門スタッフの確保と養成、相談員や教員等地域の支援者への専門研修を包括的に実施しています。

いわてこどもケアセンターホームページ

http://www.iwate-med.ac.jp/hospital/iwate_children/

取組項目 No.11 地域医療の確保

〔取組概要〕

- 沿岸被災地の中でも、特に被害の大きかった陸前高田市の医療提供体制を確保するため、平成23年8月に岩手県医師会が診療所を開設し、内陸部等の医師が交代で診療に当たっています。
- 医療機器の整備費や診療所の運営費は、国、県も支援しています。医・官の連携、平時からの互いの信頼関係の構築も大切です。

取組事例① 岩手県医師会による診療所の開設について

被災地における継続的な医療支援を確保するため、岩手県医師会が平成23年8月に開設しました。都道府県医師会が被災地で診療所を運営する例は全国でも初めてです。

関係機関、団体の協力を得て現在も診療を継続しており、同一敷地内には、応急仮設住宅も隣接しています。



陸前高田診療所の様子

被災地で不足している皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科をはじめ、計11診療科を交代で開設しています。地元医療機関のフォローに徹するというスタンスのもと、診療は、土、日、祝日、年末年始など、地元医療機関の休診日に実施しています。

現在は、岩手県薬剤師会の協力も得て、院内処方も実施するなど、施設の利便性向上にも積極的に取り組んでいます。



内部の様子



診療の様子1



診療の様子2